



ここのえ町

第66号

議会だより

発行/九重町議会

〒879-4803 大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集/議会広報編集委員会

印刷/尾花印刷有限会社



総合学習で梨の袋かけをする東飯田中学校生

6月定例会

- **第2回定例会** 補正予算・議員報酬5%カット他 P.2
- **陳情・議案** P.3
- **発議(意見書提出)** P.4
- **町長辞意表明** P.5
- **一般質問(3名登壇)** P.6~8
- **わたしのひとこと**
 - 飯田 飯田祥治朗さん P.9
 - 野上 佐藤久仁夫さん
- **こんな町にしてほしい** 東飯田中学校3年 安藤 美咲さん P.10

平成16年

第2回定例会

6月
定例議会



建替えが決まった消防詰所（筋湯）

- 筋湯消防詰所立替工事
 - ・ 8百88万3千円
- 中須導水路改修工事
 - ・ 6百29万9千円
- 豊後牛肥育経営活力アップ対策事業と肉用牛増頭多目的施設整備事業
 - ・ 約2百70万円

補正予算の主なもの

平成16年第2回定例議会は6月9日から22日までの14日間開催され、議案10件・陳情3件・発議5件を審議し、いずれも可決認定しました。

補正予算は一般会計1億3千8百35万6千円を追加し歳入歳出予算の総額は78億9千7百51万9千円となりました。

議員報酬5%カット

町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正案を議員発議で提案全会一致で可決した。

議員報酬の月額を平均で約5%カットすることになりました。改正額は次のとおりです。

- ▽議長
 - 31万7千円を30万千円に。
- ▽副議長
 - 27万3千円を26万円に。
- ▽常任委員長
 - 26万7千円を25万4千円に。
- ▽議員
 - 26万3千円を25万円に。

議会の動き

4月	5日	タウンミーティング（飯田）
6日	タウンミーティング（南山田）	
7日	タウンミーティング（東飯田）	
9日	タウンミーティング（役場）	
20日	総務財政常任委員会 巡視	
"	教育民生常任委員会・教育委員との懇談会	
21日	建設産業常任委員会 巡視	
23日	教育民生常任委員会 巡視	
"	日出生台演習場周辺整備期成会総会（玖珠町）	
"	区長会	
5月	10日	愛知県音羽町議会議員視察来町
11日	正副議長・委員長会	
17日	玖珠郡議長会総会（玖珠町）	
18日	19日	議会運営委員会視察（鹿児島県加治木町）
20日	福島県波江町議会議員視察来町	
"	"	長崎県多良見町議会議員視察来町
22日	松木川水系対策協議会総会	
27日	国道210号整備促進期成会	

みなさん方の陳情や 請願はこうなりました。



陳情

◆ 栗野本村区長石井みさ子氏外2名からの「町道恵良栗野線の拡幅（橋梁）について」は

の観点からも改修を要するものと思われる。よって、採択とすることで意見の一致をみました。

◆ 本路線は、地域住民の主要な生活道路であること、また、県代行林道栗桐線に結ぶ道路であり、今後の通行量の増加などを考慮すれば、事故防止

◆ 大分県労働組合総連合議長、佐藤俊光氏からの「大分県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本改正を求める陳情について」は

賃金制度を改善することが景気回復の一環になると判断されるため、この陳情を採択し、最低賃金引き上げと最低賃金制度の抜本改正を求める意見書提出することで意見の一致をみました。

◆ 大分県労働組合総連合議長佐藤俊光氏からの「緊急地域雇用創出特別交付金の継続、改善を求める陳情について」は

◆ 雇用、失業情勢は依然として厳しい状況にある中で緊急地域雇用創出特別交付金は、政府が実施してきた数ある雇用対策の中でも特に実績をあげ、失業者のつなぎ就労としての役割を果たしています。完全失業率が5%を超えている現状の中でこの交付金事業の継続が就労対策として有効であると判断されるため、この陳情を採択し雇用創出特別交付金制度の継続改善を求める意見書を提出することで意見の一致をみました。

議案



を整えるために条例を制定するものであり**適当である**との結論に達しました。

◆ 「訴えの提起」については、補助事業の事業主体である農事組合法人の役員が行方不明となつたことから、事業の継続が困難となつたため、補助金等交付規則に基づき、補助金の返還を求めるための訴えを提起するものであり、**適当である**との結論に達しました。

◆ 町税条例の一部改正については、本年4月から消費税が「総額表示方式」になつたため、入湯税を判定する宿泊料の金額を明確にするために「税抜き価格」という字句を加えるもので**適当である**との結論に達しました。

◆ 九重町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定については、国において電子政府、電子自治体を推進するために、平成14年12月に行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律が制定されたために、県下市町村が足並みを揃えて電子申請が受け付けられる環境

◆ 「国民健康保険税条例の一部改正について」は、厳しい経済状況下にあつて、被保険者に更なる負担を強いることに懸念はあるが、加入者の所得割に係る課税総所得が大幅に減少したことにより、国庫補助等及び基金で最大限に対応しても、なお保険税の引き上げを行わなければ運営ができない現状であるため、条例の一部改正はやむを得ないとの結論に達しました。



橋梁拡幅が望まれる栗野(森農機前)

◆ 国民生活は、5年連続の年収減で苦しさが増し、戦後最高水準の失業や企業倒産など深刻な生活危機に見舞われている中で景気を回復するためには、国民の所得を引き上げ地域経済を活性化させることが必要であります。従って、現行の最低賃金を引き上げ、働く意欲を高めるとともに最低

◆ 九重町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定については、国において電子政府、電子自治体を推進するために、平成14年12月に行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律が制定されたために、県下市町村が足並みを揃えて電子申請が受け付けられる環境

◆ 「国民健康保険税条例の一部改正について」は、厳しい経済状況下にあつて、被保険者に更なる負担を強いることに懸念はあるが、加入者の所得割に係る課税総所得が大幅に減少したことにより、国庫補助等及び基金で最大限に対応しても、なお保険税の引き上げを行わなければ運営ができない現状であるため、条例の一部改正はやむを得ないとの結論に達しました。

◆ 「国民健康保険税条例の一部改正について」は、厳しい経済状況下にあつて、被保険者に更なる負担を強いることに懸念はあるが、加入者の所得割に係る課税総所得が大幅に減少したことにより、国庫補助等及び基金で最大限に対応しても、なお保険税の引き上げを行わなければ運営ができない現状であるため、条例の一部改正はやむを得ないとの結論に達しました。



6月	大吊り橋風洞実験(栃木県)
1日	大吊り橋安全祈願祭(現地)
3日	大吊り橋安全祈願祭(現地)
4日	議会運営委員会
6日	くじゆう山開き
8日	議長・議運正副委員長研修会(大分市)
9日	本会議(開会)
"	全員協議会
"	議会広報特別委員会緑化推進協議会(役場)
10日	本会議(一般質問)
11日	建設産業常任委員会
14日	総務財政常任委員会
15日	教育民生常任委員会
22日	本会議(閉会)
"	議員研修会(人権・同和問題)
"	バイナリー発電竣工式(飯田)
24日	泉水キャンプ村安全祈願祭(飯田)

発 議



九重町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 ()は旧

議 長	301,000円 (317,000円)
副議長	260,000円 (273,000円)
委員長	254,000円 (267,000円)
議 員	250,000円 (263,000円)

この条例は、平成16年7月1日から施行する。
費用弁償 ()は旧

郡外 1日	600円 (1,250円)
県外 1日	1,500円 (3,000円)
委員会 1日	600円 (1,250円)



大切にしていきたい九重の自然

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の 確実な推進を求める意見書

我が国の森林は木材の供給はもとより国土の保全、水源の涵養、国民の保養の場の提供など、多面的機能を有しており、豊かな国民生活を送る上で欠くことのできないものとなっている。

特に近年では地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素の吸収、貯蔵源としての役割が期待され

ている。しかしながら、

我が国の森林整備を担う林業は、国産材の長期的な低迷等により採算性が悪化し、必要な間伐などの手入れや植林が十分に行われず、このままでは吸収量の減少や森林の多面的機能の発揮に支障を来すことが懸念される。国会及び政府におかれては、森林整備の諸施

策を一層充実され森林の持つ多面的機能を高めることと併せ、温暖化対策の創設とその税を森林整備を推進するための新たな財源として位置づけ、地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進と山村地域の活性化を図られるよう強く要望する。

教育基本法の 早期改正を 求める意見書

我が国の教育は、民主的で文化的な国家の建設を目指した教育基本法のもと、半世紀にわたり、学校教育制度の確立、国民教育水準の向上、発展に貢献してきた。しかし、社会は大きく変化、少年犯罪の増加、社会性や道徳心の希薄化、学級崩壊やいじめの増加等、教育の改革は国民的課題となっている。

今こそ、我が国の次代を担う青少年の健全育成を図り、国際社会でも認められる日本国民のあり方を真剣に考え、新たな時代の教育の基本像を明確に示す必要がある。政府は、我が国の教育にとって何が必要か徹底論議し、早期に教育基本法を改正するよう強く要望する。

町長辞意表明！！



辞表を安部議長に提出する



辞職表明する坂本町長

議会やむなく了承！

合併反対を掲げ再出馬

町長は、辞意の理由として凍結という言葉だけが独り歩きしており、あいまいな姿勢のまま町政を執行することはできない。合併せずに単独で行きたい。との強い意志の表れで、任期満了を待たずに辞職し、あらためて「合併反対」を揚げた選挙で信を問うのは、信任されれば、町民の意向に沿った形で町づくりを進められるからで、合併に対して玖珠町との考え

の違いを明確にしておきたい。との思いで決断したものと思われる。

議会としては、数カ月後に控えた任期満了（10月25日）前の辞任については、いかなるものかという意見が大勢を占めたが、町長の強い意志もあり、町民の真意を問うたものものであり、諸情勢を判断した時、最終的に「辞職やむなし」の結論に至り、辞職を受理することになった。

合併問題 県の圧力に屈せず

町長／圧力等は特にはない

問 合併特例法の期限切れを1年残し日本列島は駆け込み合併あり、合併協議会の解散あり、住民投票ありと合併狂想曲に覆い尽くされている。現行特例法の期限切れ後は新たな合併新法5年で第2ラウンドの合併追い込みが続く、三位一体改革で慌てふためき合併が加速されるのか、逆に冷静な思考で判断をするのか、いずれにしても強制合併の流れが強まるが、国の狙いが小規模町村の淘汰であることは明白だ。民意を反映した凍結表明に

私の一般質問

6月10日に3名が質問しました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

小川 克己



県の圧力に 屈せず

自信を持って町政に取り組むべきだ。県等の圧力が実態としてあるのか伺いたい。

圧力等は特にはない

答 国・県の方針に逆らう選択をしたので、今後は様々な問題が予想されるが、町民一丸となつて頑張つて行きたい。現状では特に圧力的な言動などはありません。

吊り橋のことなども直接どうこうと言うことは聞いておりません。

産廃処分場安定型は本当に安全か

問 産業廃棄物の最終処分場安定型の建設計画が町内にあると聞く。全国にも産廃処理場をめぐっては様々な問題点が生じている。

答 県内においても日山の産廃場で野積状態の廃棄物が加熱発火したり化学反応を起こし有害物質が発生して周辺に悪影響を及ぼしている。慎重に対応すべきだが現状は、又安定5品目は安全なのかを伺いたい。

問 町内に計画中ののは野上中巢に安定型の最終処分場が県に素案が提出されている段階です。安定型最終処分場に搬入できる品目としては、安定5品目で一つが廃プラスチック類（合成樹脂くず、合成繊維くず）と2番目がゴムくず、3番目が金属くず、4番目がガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、5番目ががれき類・建設廃材等です。

現段階では、3月末に業者から取り下げが出たと聞いています。県の所管事務で詳しいことは把握していませんが、今後注意深く見守つて行きます。



高速道周辺で投棄されているコンクリート片



庁舎内で諸手続をする住民

2巡目 国体に向けて

問 2巡目国体が4年後に控えている。九重町としてもホッケー会場として決定しているが、国体準備室等を設置する考えはないか、又、中学校等にも部活として取り組み普及振興すべきだ。

50年に一度のスポートの祭典を町民あげて盛り上げるべきだ。

17年度 課題として取り組み

答 4年後に県下市町村で開催されますが、本町は成年男女のホッケーを受け入れることで決定しています。国体準備室については、行革で減している状況で17年度の課題として取り組みたい。今の状態で国体を迎え切れると思っていないので、有償ボランティア制度等を活用することも考えています。

普及振興にも力を注ぎたいと思います。



インターハイ九州予選会が開催された森高グラウンド

「福祉バス」の導入を

町長／今は財政的に難しい
今後中学校の統合等を含めて
検討する



井上 里子

問 周辺地域に住むひとり暮らしや2人暮らしの高齢者は、特に通院の際の交通の不便さ、それに伴う出費の多さ（タクシーの利用等による）に、大変困っておられる。

答 本町は、高齢者への交通支援対策が遅れているが、これまで支援策がどう検討されてきたのか。

県下の市町村では、昨年度は院内町と大野町、本年度は大分市と玖珠町が、それぞれの方法で、高齢者の外出支援サービス事業を始めたと新聞報道されていた。

本町も、4地区をそれぞれ週2回程度運行する福祉バスの導入はできないか。

答 町は、過疎バス等の運行で、バス会社に2千万円ほど補助している。それに加えて、福祉バスということは、今の財政状況から難しい。それで、今回中学校の統合問題を、目標年度を明確にして具体的に進めていく中で、当然通学のことも検討す

るので、その方向性によつては、朝夕は通学バスで、昼間は福祉バスとして利用することもできるのではないかと思つてい



バス停から遠い周辺地域

次世代育成行動計画の策定、実施にどう取り組むか

問 昨年7月に、次世代育成支援対策推進法が制定され、県・市町村（従業員3百人を超える事業所）は、本年度中に、次世代育成支援行動計画の策定が義務づけられた。数少ない子ども達が、心

身共に健やかに育てるよ
うな環境整備を中心に、
住民のニーズに合った計
画の策定とその着実な実
施が望まれるが、町とし
てどう取り組むか、全体
的なことと、具体的なこ
とについて伺いたい。

全庁的な体制で 取り組む

答 本庁の地域色を生かした実効ある計画の策定と、計画をいかに実行して成果をあげるかが、重要な課題だと受け止めているので、全庁的な体制で取り組む。

施策や事業には、可能な限り数値目標を設定し、実施状況を把握、点検しつつ実施し、住民に公表する。

6月に庁内推進会議（関係課長12名）、7月に策定委員会（住民代表を含む）等を立ち上げ、12月の計画完成を目指す。

計画の推進体制は、庁内推進会議を当てるが、策定委員会での検討事項とする。

子育て支援係の 設置を

問 現在、本町には子育て支援係が置かれていない。ふれあい福祉係がその分野をかね持っているが、係がきちんと位置づけられていないと、子育て支援は充実しない。今後は次世代育成行動計画の策定・推進の仕事も加わるので、子育て支援係を設置すべきである。

答 子育て支援の窓口を一つにして子育て支援課にしたかどうかという議論も一度したが、幼保一体化の一定の方針が決まった段階で、窓口の一本化も含めて、組織機構の改革をしなければならぬと思っております。



元気に遊ぶ子どもたち

江藤 一幸



アートランド九重の今後

町長／苦慮している

どうする アートランド九重

問 適正化法第22条にかかわる町が、国や県に対して補助金の返還をしながら良い手続きは、進めていただき、これ以外で借地料や土地改良区への負担金の問題はどういうふうに考えているか。町が一千万円の補助金を出している。破綻したこの事業の後始末をつけるのは、町に課せられた責務だと思いがいかがか！

対応、 苦慮している

答 相手方（法人）がいなくなり、大変難しい。弁護士、関係機関、貸し主の公庫銀行等々と何度も議論しました。占有者がいてなかなか難しく順調にいったいないのが現状です。町がとるということにもならず、町としてどうだという答えが出せず、私どももいらいらしている状況です。

ぴかっと光る 町の具現化

問 合併法定協を凍結し、単独でいくため、健全財政のために過疎計画等の精査・点検の具体的協議はどうされているのか。町長は、単独で『ぴかっと光る町づくり』をすると言う事ですが、具体的なプランは、考えを聞きたい。

具体案は後日

答 合併してもしなくても、財政的には大変厳しいものがあります。合併をしない選択をしました。過疎自立促進計画も見直しながら、住民サービスは影響しないよう努力したい。



対応が難しいアートランド九重

オープンな場 での協議を！

問 A社が保健所に、産業廃棄物の最終処分場の設置許可申請を出し、その後取り下げし、今度は、B社が申請を出した。保健所も情報開示をしない。オープンな場での議論や手続きが進むよう、対応をお願いしたい。

素案が町に 来てから

答 今の段階は素案が県に出ていると聞いていますが、素案が町に来て、それから照会となります。素案が町に来た段階で関係地域、下流の皆さん方、周辺の区長さんとも協議し、県とも相談しながら説明会をしていきたいと考えています。



J A 玖珠九重の九重支所で集積されている廃棄物



飯田(安川)
飯田祥治朗さん

今こそ 九重町の改革を

今、合併の凍結という英断に拍手を送っている一人である。では、九重町が単独で生きて行くための改革は進んでいるのか？ 行政や議会の改革がどの様に進むのが、今注目されている。町四役の報酬や管理職手当が減額されたと聞いている。後は一般職員の協力を期待したい。一方議会に於いても、議員報酬や議員定数が削減されるのか。特に定数については合併しようがしまいが、13名にすると聞いていた。この事が時間が経つにつれて見送りにならぬ様にして頂きたい。議会自らが範を示してほしいものである。又県内で情報公開No.1の九重町であるからにして、我が町の議員の政治倫理要綱をも公開し町民もこれを勉強する必要があるのではないだろうか！ 議員とはどうある



べきか、町民のために活動し、町民の福祉を最優先にする様な倫理要綱に改革すべきではあるまいか。九重町が単独で生きて行く事を選択した以上、住民が一丸となって進んで行く、その先頭に立てる議員であり、少子高齢化が進む中、我々の代弁者であり、どこにでも誇れる議員であつてほしいものである。そのためには町民が納得し理解できる改革にしてほしいし、行政や議会の改革が進めば我々町民も「キラッと光る九重町」の町作りに協力と努力を惜しまない所である。

わたしの ひとこと



野上(茅原小野)
佐藤久仁夫さん

私の 残したいもの

「やせがまんしつつ茅葺き残してる」

私の家は茅葺屋根です。ある資料によると、現在残っている茅葺きの民家は全国で9百市町村に4万五千5百6戸だそうです。



町内の数少ない茅葺屋根

茅葺屋根の良い所は、自然に近く、特に夏は涼しく快適な暮らしの出来る事です。

最近、茅葺屋根も少なくなり珍しくなったのか、写真を撮ったり絵を描いたりする人や家を見せたいなどで、多くの方が訪れます。九州各地をはじめ、遠くは関東地方からの人もあります。

そんな中で、山口県より毎年の様に来る人もあり、皆さん異口同音に、この屋根を残してほしいと言ってくれるが、修理

などが大変なのでなかなか返事が出来兼ねている。「茅葺きを絶やすすでない」と無責任

以前は日常の生活に火を使っていたので、その煙が防虫作用や乾燥の役目などをし、一度葺き替えると約40年位大丈夫と言われていたが、現在はほとんど火を使う事がないので20年位で修理をしなければならず、頭を痛めているが、今後も出来る限り残していきたいと思っている。

「悪い所ないかと今日も屋根を見る」

こんな町でついでついで

ふる里を誇りに思える町に

東飯田中学校3年

安藤 美咲さん



した。父は自然豊かな九重町が大好きで、九重町に住みたいと以前から考えていたからです。この自然にふれることを目的に8月に親子レクで、久住山に登る計画を立てています。クラス全員で、心に残る思い出にしたいです。

私の家族は、8年前に福岡から九重町に移り住みま

今、私は九重町少年少女合唱団に入っています。そして、町民ミュージカル「朝

議員リレー

随想

36

子は国(町)の宝



梅木 征治

最近のニュースに、女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率が、1.29まで下がったと報じられています。この数値が2.1以上でないと人口は減って行くと言われ、急激な人口減少は経済の持続を根底から揺るがし、労働力の低下、年金制度の崩壊、住む人のない集落、廃校になった校舎。国や町を担う子どもは、

日長者物語」や「星生山の星太郎」にも出演しました。仕事を持っている人たちの練習はいつも夜でした。学校の勉強などもあり、両

立させることはたいへんでした。しかし、みんなで一生懸命練習して、むかえた本番は演じた私自身とても感動しました。町民たちが創るミュージカルができる九重町は、すごいと思うし、私はこのすばらしい文化活動を生かして町を元気にできるのではないかと思います。私が大人になった時も、

まさに子は国(町)の宝です。子どもは社会が育てるという考えで、子育て支援体制の充実を図るべきだと思います。少子化の原因は、子どもを育てるのに金がかかる、仕事が続けられない等色々の理由で産まない人が多くなっているからです。子どもを育てる環境を早く整備しないと、最後は国に、また私たちに帰ってくる問題だと考えます。

さて、そうした中で、町内に明るい話題があります。



町民が演じるミュージカル

この豊かな自然と文化活動がさかんで、私たちが、胸をはって誇りに思える町であってほしいです。

アテネで開催されるオリンピックにホッケーの日本代表として、野上小平谷の岩尾幸美さんが出場することです。九重町にとって初めての快挙ではないかと思えます。町民あげて応援をしていますので、メダルに向けて頑張ってください。後に続く子どもたちに、夢と希望を与えてくれてありがとうございます。岩尾選手には、ケガには十分気を付けてられて、オリンピックを楽しんで来てください。



6月中旬、ある日、天気予報を見ながら、台風6号発生のニュース、又かと思いつつ、余り気にもかけずに、2日後の予報、日本直撃の予想、それも大型台風。忘れもしない、台風19号が必然的に脳裏に浮かんで来ました。今、台風が来たら、収穫を楽しみに一生懸命育てる途中の作物も大打撃を受ける。良かった、今回はコースからはずれた。

6月の台風で日本上陸は珍しいとの事、今や過去のデータは参考にならない程新しい事が起こる時代になったのでしよう。

気象の変化は、将来どのように農作物に影響を与えるのでしょうか。私どもの食料は安定的に供給されるのでしようか、そんな事を考えつつ、早く稔りの秋を迎えたいものです。

